



きたのだいしょう としょかん 北ノ台小 図書館だより

令和7年10月 No.5

校長 野口直也
学校司書 笹島成美

暑さも和らぎ、秋の風が感じられる頃となりました。各学年、遠足などのイベントがあり、何かと忙しいひと月となるかもしれません。しかし、あっという間に涼しげな秋は過ぎ去って、寒い冬が来てしまいます。せっかくの読書にぴったりな時期ですから、ぜひ本を借りにたくさん図書室へ来てください！

※9月が終わりましたが、返却期限が9月以内の本を返していない人は、速やかに本を返しに来てください。



じゅうがつ 10月の本



10月のテーマは「ハロウィン」です。

ハロウィンをテーマにした本や、ヴァンパイア・魔女・お化けの出てくる本を展示しています。

ところで、ハロウィンってなに……？

ハロウィンは、古代ヨーロッパのケルト人の行事「サウィン祭」という夏の収穫祭が起源といわれています。サウィン祭では悪魔祓いの風習があり、悪魔から身を隠すために、自分たちも悪魔の格好をしていました。それが、今のハロウィンの仮装につながったのだとか。

また、子どもが「トリックオアトリート」と言ってお菓子をもらうのは、死者に捧げる「ソウルケーキ」をもらう「ソウリング」という、ヨーロッパの儀式に由来する説があります。

(参考文献：『由来からわかる日本と世界の行事図鑑』国立歴史民俗博物館 山田慎也 監修、スタジオタッククリエイティブ)



『ハロウィーンのおばけ屋敷』

エリカ・シルバーマン 文、ジョン・エイジー 絵、
清水奈緒子 訳／セーラー出版

牢屋から逃げ出した二人組。逃げ込んだのはハロウィーンの館。暗く、不気味なおばけ屋敷。こっちの部屋にはとうさんとおおかみ男と子どもたち。あっちの部屋にはかあさん吸血鬼と子どもたち。こわくてユーモラスな一夜の冒険。



『ハロウィーンまで、まってなさい』
ミリアム・ヤング 作、小宮由 訳、平澤朋子 絵
いわなみしよてん 岩波書店

おもちゃ屋さんに売られていた魔女のモビール。ハロウィーンの夜、魔女の四人姉妹は動き出すと、自分たちにいじわるをしたお客をこらしめにいき…。ハラハラドキドキの魔女のお話。



『魔女だったかもしれないわたし』
エル・マクニコル 著、櫛田理絵 訳
ピーエイチピーけんきゅうしょ PHP 研究所

昔、「人と違う」というだけで処刑された人たちがいた。魔女裁判の話聞いたアディは、慰霊碑を作ることを提案するが…。自閉の少女の葛藤と成長を描く。



『本のたからばこ』近日配信予定！

『本のたからばこ 2025』が完成いたしました！
近日中に低学年・中学年・高学年向けのものがクラスルームで配信されます。リストに載っている本は図書館にあるので、興味のある人はぜひ借りに来てください。

『本のたからばこ』とは……？

調布市内の小学校司書による、小学生へのおすすめ本リストです。物語だけでなく、様々な分類から本が選ばれています。

リストに載っている本は、調布市内全ての市立小学校にあります。

